

第7回

残しておきたい<sup>〴〵</sup>ふるさと北播磨<sup>〴〵</sup>

写真コンテスト入賞作品

【応募総数】 419点(242名)

うち一般部門 168点 57名

中・高生部門 251点 185名

【応募期間】 令和2年5月7日～令和2年12月4日

## 募集要項

- 1 内容 北播磨県民局管内の「残しておきたいふるさと」の今」をテーマとした写真にコメントを付けたもの。
- 2 主催 兵庫県北播磨県民局
- 3 後援 神戸新聞社
- 4 応募要領 令和元年12月1日から令和2年11月30日までに撮影した未発表の作品。応募点数は一人5点まで。作品と題名、コメント（百字以内）、撮影場所または行事名、撮影年月日、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、「一般部門」は郵送または持参、「中・高生部門」は専用webページから応募。「一般部門」
- 5 賞  
最優秀賞 1点／3万円分の図書カード  
優秀賞 3点／1万円分の図書カード  
特別賞 10点／5千円分の図書カード  
佳作 10点／5千円分の図書カード  
〔中・高生部門〕  
最優秀賞 1点／1万円分の図書カード  
優秀賞 3点／5千円分の図書カード  
佳作 10点／2千円分の図書カード
- 6 発表 審査会終了後、該当者に通知。フィルムの原版またはデジタルデータ提出により受賞確定。兵庫県北播磨県民局のホームページ等で発表。
- 7 著作権 入賞作品の著作権は、撮影者に帰属。使用権は、兵庫県北播磨県民局に帰属。
- 8 活用方法 北播磨県民局管内の施設やイベントで展示、ホームページ等でも紹介。

## 審査員

廣岡 徹 (ひろおか とおる)

兵庫教育大学大学院 元教授

岡本好太郎 (おかもと こうたろう)

兵庫県生きが創協協会 生涯学習アドバイザー

上田 賢一 (うえだ けんいち)

神戸新聞社編集局映像写真部長  
兵庫県北播磨県民局長

## 《審査員全体評》

最近は、中・高校生たちも、スマホを使つていとも簡単に写真を撮り、交換し合っています。あるいはインスタ映えと称して投稿を競い合ったりしています。それに、高校には写真部があるところも。ということで、第7回からは「中・高生部門」を設けました。ただ、学校生活の忙しさ等も考え、WEBでの受付としました。

結果的に、一般を上回る185名251作品の応募があり、中には、一般部門の手練れの作品に匹敵するものや、いかにも中・高生らしい作品もありました。ご覧いただければ、一般部門の皆様にも、いい刺激になるのでは、と願っています。

さて、一般部門では、お馴染みの場所、風景が減少し、新たな場所や切り口が増えてきたように思います。そんな中で、最優秀賞や優秀賞など、構図やレイアウトが大きな魅力となりました。

中・高生部門は、身近なモチーフの作品から、ある場所、時間を狙った労力を要する作品まで、多彩な応募がありました。一般部門を見慣れた私には新鮮で、また今まで対象とされなかったような新しい発見が多くありました。

一般部門の皆様が、どう評価されるのか、お伺いしたいものです。

(廣岡審査員)

新型コロナウイルスが少なからずみなさんの暮らしに大きな影響を与えた1年となりました。そんな中でも、ひたむきに作品作りに励み当コンテストに多くの応募を頂き感謝しております。祭りやイベントの中止、縮小が相次いだこともあり、例年とは違った視点での応募作が目立ったように思います。定番の場所でも、季節や時間帯を変えて足を運ぶことで、こんな風に見えるのかと気づかされる作品もありました。こういう時だからこそ、地域の足元を見つめなおし、新たな魅力を発掘してみようという気概も感じられたように思います。

今回から始まった中・高生部門にも新鮮な発見がありました。登下校や学校生活の中で、心に響く風景を素直に表現した作品には、この地で暮らし育まれた感受性の豊かさを感じ取ることができそうです。何よりも、とっておきの場所をそれぞれが持つており、自分たちの住む北播磨に誇りを持つていることが伝わってきました。

コンテストは撮影技術も含めて競い合いますが、1枚の写真に思いを乗せて伝えることのできる貴重な機会でもあります。どんどんシャッターを押して、みなさんのふるさとの魅力を教えて下さい。

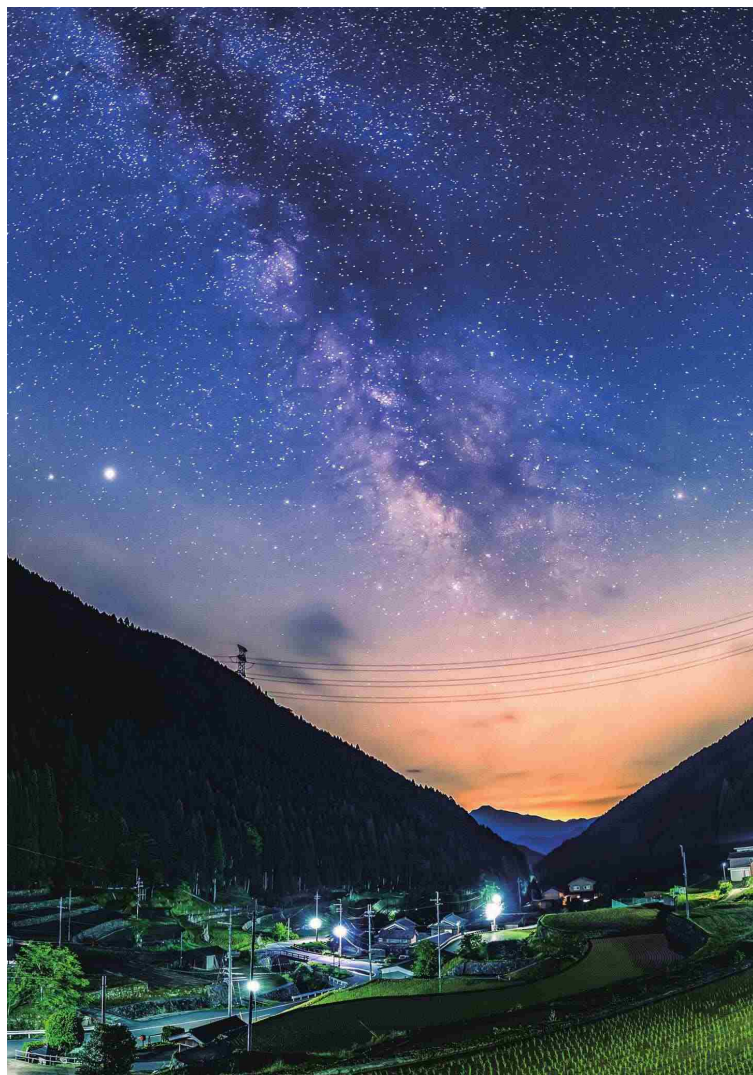
(岡本審査員)



## 棚田の里に銀河

都倉 重忠 (加古川市)

撮影場所…多可町 岩座神



### 《撮影者コメント》

天の川がかかる岩座神の棚田の空です。そこには人々の静かな暮らしがあり、日本の原風景となっています。

### 《審査員講評》

▼北播磨で、いや日本でこんな星空が見ることができるとは。また、手前から奥行きまでこれほどシャープに撮れるとは。いやはや驚きました。郷土の観光のポスターを見ているような気持ちになります。

(廣岡審査員)

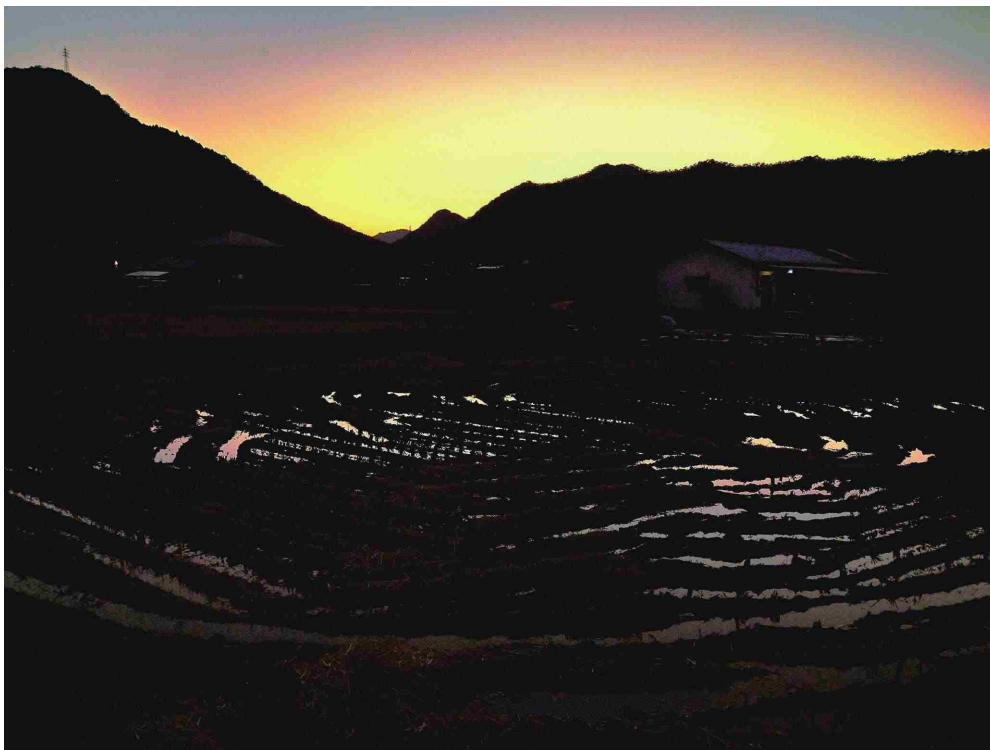
▼天の川が流れる満天の星空だけでも見事ですが、街灯に浮かぶ集落や田植え後の苗が立ちあがった様子などもよくわかり、美しい景観を誇る岩座神の魅力を余すことなく伝えています。計算された構図と適正な露出から高い撮影技術を感じさせます。

(岡本審査員)





# カイチの秋



撮影場所：西脇市 黒田庄町

藤井 建 (西脇市)

## 《撮影者コメント》

黒田庄町大門字カイチの釣瓶落としの夕陽を撮影していて、ふと視線を下げてみると収穫の軌跡に昨夜の雨がいく秋を惜しむように円を描いて、それは、宙の星の輝きに似て。

## 《審査員講評》

▼棚田の夕景。これ以前でも以後でもない「釣瓶落とし」の微妙な時間を捉えました。日本の原風景の一つ。一日の農作業の後の、心地よい疲れと充足を感じさせます。

(廣岡審査員)

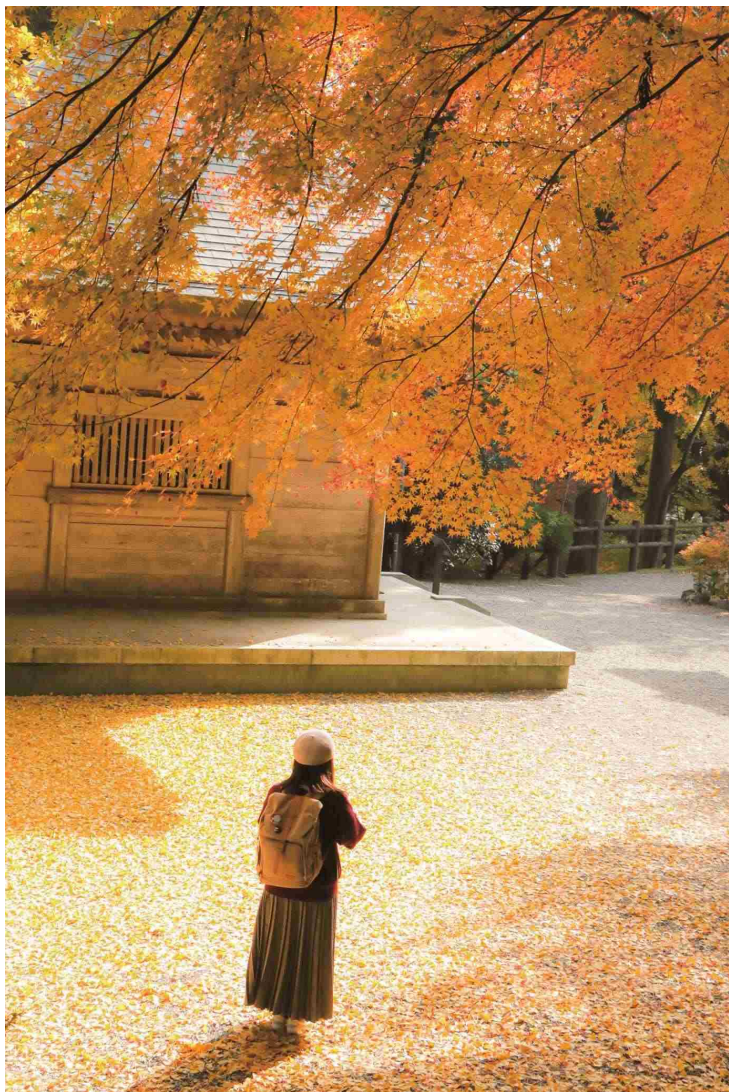
▼山向こうに沈む夕日が最後の瞬間に見せる輝き。収穫を終えた棚田に雨水が溜まっていなければ、出合えなかった光景ですね。さまざまな形に縁取られたシルエットが面白いです。感動をすぐに表現できる写真の面白さを伝えてくれます。

(岡本審査員)

# 刻の移ろい

林 雅美 (小野市)

撮影場所…加東市 播州清水寺



## 《撮影者コメント》

播州清水寺は紅葉の季節になると銀杏や紅葉で境内は色彩豊かに彩られます。この日大銀杏の根元は一面の黄色い絨毯が広がり夕陽に煌めく紅葉に心躍るシーンに出会いました。この美しい光景を見て残しておきたいと思いました。

## 《審査員講評》

▼モノトーンが、不思議な魅力を感じさせます。女性は何をしているのでしょうか？祈願に来たかどうかは分かりませんが、お堂の裏に佇み、秋の風情を楽しむ女性を秋の風景に組み込みました。いい秋ですね。

(廣岡審査員)

▼落葉で埋め尽くされた境内に柔らかな反逆光気味の日差しが降り注ぎ、温かみのある印象的な1枚になりました。人物の配置もよく、少し傾いた構図が静かな境内に動感を与えており、ドラマチックな雰囲気仕上がっています。

(岡本審査員)



撮影場所：多可町 余暇村公園

何かいるかな

加藤 誠司 (姫路市)

《撮影者コメント》

多可町の余暇村公園は自然豊かな公園であり、特に秋の紅葉が綺麗です。きれいな紅葉が映りこんだ池の中を子供たちが生き物を探していました。何かいるのでしょうか。

《審査員講評》

▼虫探し?の少年にとっては、秋の魅力も何のその。紅葉にはお構いなく、池の端ついで獲物?を探す少年を俯瞰する構図も面白い。しかし、彼らも、どっぷりと秋の中にいる。水面に映える紅葉がみごとです。

(廣岡審査員)

▼網を手に池の中をのぞきこむ少年たちの後ろ姿が効いています。水面に映り込んだ色鮮やかな紅葉が模様となり、不思議な空間に迷い込んだような印象を与えます。身近な自然に親しむ様子がほほえましいですね。

(岡本審査員)